



奈良県感染症情報

令和4年第42週(10月17日～10月23日)

奈良県感染症情報センター(奈良県保健研究センター)

<https://www.pref.nara.jp/27874.htm> TEL:0744-47-3183

今週の概要

- 小児科外来情報

◆ 定点把握感染症報告状況(定点当たり患者報告数の上位5疾患) ◆

順位	疾患名	奈良県			北部	中部	南部
		定点当たり	(前週)	増減			
1	手足口病	1.29	(0.79)	➡	➡	↗	↓
2	感染性胃腸炎	1.26	(2.06)	↘	➡	↘	➡
3	RSウイルス感染症	0.53	(0.76)	↓	↓	↓	↓
4	突発性発しん	0.26	(0.38)	➡	↘	↑	➡
5	ヘルパンギーナ	0.21	(0.15)	➡	➡	↘	↓

発生状況: **大流行** **流行** **やや流行** **少し流行** **散発** (疾患毎に、基準値を定めています。)

増減: 過去5週間平均数と比べたときの变化 **↑↑急増**、**↑増加**、**↗やや増加**、**➡横ばい**、**↘やや減少**、**↓減少**

◆ 県内概況(新型コロナウイルス関係) ◆

第42週の新型コロナウイルス新規感染者報告数は2226名と第41週の2225名から減少せず、高い水準で推移しています。奈良県では、感染防止と社会・経済活動とを両立させ、日常生活の維持を目指していきたいと考えています。

県民のみなさまには、基本的な感染予防対策の徹底を改めてお願いいたします。

◆ 県内概況(その他の感染症) ◆

手足口病の報告数が増加しており、特に奈良市保健所管内からの報告数が多くなっています。手足口病はコクサッキーウイルスなどのエンテロウイルスが原因の、口の中や手、足などの水ぶくれ(水疱性の発疹)を主症状とする感染症です。予防接種がなく、予防法は手洗いをしっかり行うことです。流水、石けんによる手洗いをしっかり行い、タオルやおもちゃの共用は避けるようにしましょう。

❖ 小児科外来情報 ❖

北部地区(田中小児科医院)

手足口病が流行している。初発症状は発熱で、皮膚症状が無い症例が多い。

感染性胃腸炎が少数例ある。コロナ検査の実施件数は少なくなった。インフルエンザ陽性が1例あった。

中部地区(岡本内科子どもクリニック)

COVID-19 陽性例は減少したが10代にまだ見られる。経過は軽症。乳児の咳嗽例が増加、経過が重症・遷延する例はなかった。感染性腸炎は減少。インフルエンザはまだない。

南部地区(南奈良総合医療センター小児科)

COVID-19 感染症の流行は継続している。小児は比較的軽症で後遺症も少ない。

普通感冒が増加するうち、発熱・強い呼吸器症状遷延例ではヒトメタニューモウイルス陽性が多くみられる。

ノロウイルス等の胃腸炎は少ない。

インフルエンザの流行もはじまっていない。

マスクの着用について

マスクについては、**場面に応じた適切な着脱**をお願いします。

屋外

季節を問わず、**マスク着用は原則不要**です。

① 人との距離(めやす2m)が保てず、会話をしている場合は着用をお願いします。

徒歩や自転車での通勤・通学など、人とすれ違う時も不要。距離を確保して、会話をしている際はマスクは不要。

屋内

距離が確保でき会話をほとんど行わない場合をのぞき、**マスクの着用をお願いします。**

マスク着用推奨

十分な換気など適切な対策を講じている場合は着用は不要です。

マスク着用推奨

換気が確保できず、会話をしている場合は着用をお願いします。

① 人との距離(めやす2m)が保てず、会話をしている場合は着用をお願いします。

基本的な感染対策はメリハリをつけましょう。高齢の方に会う時、病院に行く時、通勤ラッシュ時や人混みの中ではマスクを着用しましょう。

新型コロナウイルス感染症の発生について(厚生労働省HP)

出典: マスクの着用について(厚生労働省 HP)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kansentaisaku_00001.html 1640.pdf

❖ 定点把握感染症報告状況 ❖

令和 4 年 第 42 週 10 月 17 日 ~ 23 日

保健所別報告数	奈良県		北部		中部		南部
	奈良市	郡山	中和(東)	中和(西)	吉野		
インフルエンザ定点数	55	14	14	11	10	6	
インフルエンザ	1 (0.02)				1 (0.10)		
小児科定点数	34	9	9	7	6	3	
RSウイルス感染症	18 (0.53)	5 (0.56)	8 (0.89)	3 (0.43)	2 (0.33)		
咽頭結膜熱	1 (0.03)				1 (0.17)		
A群溶連菌咽頭炎	1 (0.03)		1 (0.11)				
感染性胃腸炎	43 (1.26)	11 (1.22)	13 (1.44)	7 (1.00)	10 (1.67)	2 (0.67)	
水痘	1 (0.03)					1 (0.33)	
手足口病	44 (1.29)	20 (2.22)	8 (0.89)	12 (1.71)	4 (0.67)		
伝染性紅斑							
突発性発しん	9 (0.26)	3 (0.33)	1 (0.11)	3 (0.43)	2 (0.33)		
ヘルパンギーナ	7 (0.21)	4 (0.44)	2 (0.22)	1 (0.14)			
流行性耳下腺炎							
眼科定点数	10	3	3	2	2	0	
急性出血性結膜炎							
流行性角結膜炎	1 (0.10)		1 (0.33)				
基幹定点数	6	1	2	1	1	1	
細菌性髄膜炎	1 (0.17)			1 (1.00)			
無菌性髄膜炎							
マイコプラズマ肺炎							
クラミジア肺炎							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)							

❖ 全数把握感染症報告状況 ❖ ()は保健所別内訳

1類感染症	
2類感染症	結核1件(郡山1)
3類感染症	
4類感染症	レジオネラ症2件(奈良市1、郡山1)
5類感染症	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1件(中和1) クロイツフェルト・ヤコブ病1件(奈良市1) 劇症型溶血性レンサ球菌感染症1件(中和1) 侵襲性肺炎球菌感染症1件(郡山1) 梅毒2件(奈良市1、中和1)

❖ 第42週のトピックス ❖

◆今秋以降の感染拡大期における感染対策について
(新型コロナウイルス感染症対策分科会)

<https://www.cas.go.jp/ip/seisaku/ful/taisakusuisin/bunkakai/dai19/kansentaisaku.pdf>

◆令和4年度 今冬のインフルエンザ総合対策について
<https://www.mhlw.go.jp/stf/index2022.html>

※令和3年12月20日より内吉野保健所は吉野保健所に統合されましたので、旧内吉野保健所分は吉野保健所として集計しています。

※平成27年2月16日より桜井保健所と葛城保健所は統合され中和保健所となりました。旧桜井保健所分は中和(東)、旧葛城保健所分は中和(西)として集計しています。

上段 : 報告数
(下段) : 定点当たり報告数 報告数÷定点数

年齢別報告数

年齢区分	年齢	0-5M	6-11M	1歳	2	3	4	5	6	7	8	9	10-14	15-19	20-29	30-39	40-49	50-59	60-69	70-79	80-	合計	累計	
インフルエンザ	男																					1	6	
	女																						1	13
RSウイルス感染症	男	3	1	4	3	1		1															13	854
	女			1	2	1	1																5	721
咽頭結膜熱	男																						1	116
	女			1																			1	80
A群溶連菌咽頭炎	男						1																1	102
	女																						1	84
感染性胃腸炎	男		3	4	1		3	1	1	2		1	3	2	2								23	2689
	女		2	1	3	2	2	2	1		1			1	7								22	2346
水痘	男																						1	39
	女												1										1	40
手足口病	男		2	17	8	2	2	2															33	434
	女		2	3	3	2		1															11	347
伝染性紅斑	男																							4
	女																							3
突発性発しん	男			4		1	1																6	231
	女		1	2																			3	180
ヘルパンギーナ	男			1	1	1																	3	94
	女			1	2				1														4	65
流行性耳下腺炎	男																							11
	女																							15
急性出血性結膜炎	男																							
	女																							
流行性角結膜炎	男																							49
	女																							30
細菌性髄膜炎	男			1																			1	2
	女																							1
無菌性髄膜炎	男																							2
	女																							
マイコプラズマ肺炎	男																							1
	女																							
クラミジア肺炎	男																							
	女																							
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	男																							
	女																							

◆注目疾患の動向◆ 全て定点当たり報告数

■ R4 ▲ R3 □ R2 〻 過去10年平均

